

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-15

学校名・団体名	長南町立長南小学校
HPアドレス	なし
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	われら長南まるごと学び隊 ー長南小学習の最終章へー
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校の教育目標は、「郷土を愛する心を持ち、健康で、自ら学ぶ心豊かな児童の育成」であり、地域の教育資源を学習活動にとりいれ、地域の方とのコミュニケーションや調べ学習・体験的な学習を通しふるさと長南を大切にしようとする学習に取り組んでいる。</p> <p>本校は、平成28年度末をもって統合が決定した。そこで、本年度「まるごと長南学び隊」として、各学年及び全校学習として、地域の再発見、再認識をし、それぞれの学習の経過や成果をまとめる。そして、郷土である「長南」に愛着や誇りとともに新しい学校や町作りへの希望や願いをもち、思考し、表現する学習をすることで、自ら学び、自ら考え、ふるさとを大切にしようとする児童を育成することにつなげたい。</p>	

1 目標

ふるさと長南の教育資源の開発とその活用を中心に、地域の良さや問題点に気づき、思考し、表現することで、自ら学び、自ら考え、ふるさとを大切にしようとする児童を育成する。

2 活動内容・時期・特色

(1) 地域の歴史や偉人について体験的に学び将来の生き方や考え方を話し合った。(6年)

ア 教科 社会・総合 (5月・9月)

地域で発見された土器や古墳、長南城等と社会科で学ぶ歴史とを関連させた。学校近くで発見された土器や火起こし体験などを地域の方から学び、約5000~6000年前の様子を話し合った。また、絵図を見ながら、長南地区の変遷を話し合った。

イ 教科 総合 (10~12月)

地域で教育を熱心にすすめ東京家政大学や共立女子大学の創立に尽くした「渡邊辰五郎」の生い立ちや考え、生き方について調べ、実際に大学を見学し、町や自分の未来・展望について考え、郷土を大切に生きていこうとする意識が高まった。



(2) 地域の方から米作りや料理を学び、農業や長南川の未来についてビジョンを話し合った。(5年)

ア 教科 社会・総合 (4月~12月)

地域の田で田植えから収穫、米を使った料理までを地域の方(農家・料理研究家等)から体験的に学んだ。地域のよさ(ブランド米等)と課題(後継者問題等)について考え、今後のビジョンについて話し合った。また、田んぼ周辺で見つかる動植物を「あぜ道図鑑」としてまとめた。

イ 教科 家庭 (10月)

長南米を中心に長南でとれる野菜を使った「長南丼」をヘルスメイトさんと作りレシピ集にまとめた。

ウ 教科 社会・総合 (11月・12月)

長南川のきれいさを研究者の方と調べたり、防災について話しを聞き改善策を話し合ったりした。

エ 教科 総合 (1月)

伝統工芸「長南袖凧」を袖凧保存会の方から学び、大切にしたいという願いをもつことができた。



(3) 地域の伝統工芸芝原人形を作った。また地域の老人ホームで高齢者と交流をし、お年寄りを尊敬し大切にしようとする心情を高めることができた。(4年)

ア 教科 国語・総合 (7月・9月)

お年寄りから話を聞き、長南カルタ遊びをとおして、高齢者と交流を深め長南の文化財など教えていただき、高齢者を大切にしようとする思いを深めることができた。

イ 芝原人形作り 総合・図工 (12月・1月)

地域の伝統工芸「芝原人形」作りを継承者に教えていただきその歴史や工夫や苦労について調べまとめた。泥面の歴史や遊び方について興味をもち調べることができた。



(4) 長南町の産業である「蓮作り」や「蓮料理」、「紅花染め」を地域の方から体験的に学び、長南の良さや産業について考え話し合った。(3年)

ア 教科 社会・総合 (5月~10月)

長南を知るためにバスで町巡りを行った。そして、特産である蓮を実際に育てその苦労や工夫を知り、カレンダーにまとめた。また蓮料理を地域の方に教わりレシピ集にまとめた。あわせて蓮田にすむスクミリンゴガイの生態について博物館研究者から学び、その分布や課題についてまとめ発表した。

イ 教科 総合 (11月)

長南の文化である「紅花染め」の歴史や染め物について保存会の方から学び作品を作った。



(5) 地域の自然や野菜作りの楽しさや苦労について地域の方々から体験的に学んだ。(1・2年)

ア 教科 生活 (4月~2月)

春野菜・夏野菜・秋から冬には根菜類を農家の方に教わりながら、野菜を育て料理をした。野菜と土作りや野菜の生長について年間をとおしてまとめることができた。



(6) 思考力・表現力の育成を図る校内研究を行い「深め合う」工夫について研究を積んだ。(年間・全学年)

全学級で「深め合う」工夫について授業研究を行うとともに各学年の活動や学習を「長南ふるさと再発見」として記念誌にまとめた。また、地域の方に学習から得られた発見や思い、願い、未来の長南の町作りへの希望などについて冊子や発表会で発信した。また、全校で天文や文化、自然について話を聞く機会を設定した。



4 成果と課題

「長南まるごと学び隊」として子どもと先生方が地域の方々とともに長南のよさや課題を体験的に学び深め合うことで、再発見・再認識することができた。また、郷土「長南」に誇りをもち、地域の方への感謝や地域を愛する心情を養うことができた。そして地域や学校、町、自分の未来について目を向け、自分の考えをもち、互いに意見を深め合い伝え合うことで、さらによりよい思いや願いを持つことが大切であると実感できたことが大きな成果である。次年度さらに学び方を深化させ、ふるさと長南を一層大切に育てる児童を育成したい。